

令和元年度 第2回四万十町国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

日 時：令和元年8月28日（水） 14時05分～14時43分

場 所：四万十町役場 西庁舎3階防災対策室

出 席：船村委員、太田委員、伊賀委員、武田委員、澤田委員、牧野委員、瀬川委員、菊池委員

欠 席：筒井委員

事務局：森副町長、本山町民課長、松田税務課長、

中川税務課主幹、岡崎町民課主査

傍聴者：0名

◆議事次第

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 議事録署名委員の指名（⇒伊賀委員、菊池委員を指名）
4. 議題
 - （1）平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算（実績）報告について【諮問】
 - （2）令和元年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第1号について【諮問】
 - （3）その他
5. 閉会

◆議事結果

森副町長が諮問書を読み上げ、船村会長へ手渡す。

- （1）平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算（実績）報告について【諮問】

【会 長】

それでは、議案第1号「平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算（実績）報告」について議題に入ります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

～町民課・税務課担当から「平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算（実績）報告」について説明～

【会 長】

事務局より説明がありました。これにつきまして質疑を行いたいと思います。質疑はありますか。

【全委員】

ありません。

- （2）令和元年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第1号について【諮問】

【会 長】

それでは、議案第2号「令和元年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第1号」について議題に入ります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

～町民課担当から「令和元年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第1号」について説明～

【会 長】

事務局より説明がありました。これより質疑を行いたいと思います。質疑はありませんか。

【全委員】

ありません。

(3) その他

【会 長】

それでは、議案第3号「その他」について何かありませんか。

【森副町長】

議案第1号、第2号について委員の皆様にご承認をいただいたと理解しておりますが、事務局から説明がありましたように、平成30年度の形式収支は約2,117万円の黒字があって、今回の補正予算で繰越金として予算計上したわけですが、ただ当初予算で1,000万円あまりすでに計上していたことにより、差し引いた約1,117万円を補正予算に計上したということです。

【太田委員】

平成30年度から制度改正により県が財政運営の主体となったとあるが、今後の国保運営や財政状況は、どう変わっていくと予測されるのか。

【事務局】

県が主体となって2年目であるが、正直、まだ国保運営や財政状況等がどのように変わっていくのか予測ができない状況であるため、県と情報共有しながら分析を行っていきたいと思う。

【町民課長】

国保税等は市町村によってバラつきがあり、高い市町村もあれば低い市町村もあるのが現状である。県主体となり、今後もこれが継続されるのかまだ不明であるため、そのあたりは注視していきたい。

【太田委員】

四万十町は国保税が高いという話を聞いたことがあるが、下がることもあるのか。

【町民課長】

所得割でいうと、四万十町は7.9%であるが、四万十町より高い市町村は7、低い市町村は25、同じ市町村は1となっている。均等割については、四万十町は16,000円であるが、四万十町より高い市町村は31、低い市町村は2となっている。平等割については、四万十町は19,800円で、四万十町より高い市町村は20、低い市町村は13となっている。所得割は高いと見られるかもしれないが、その他は全体的に低いと思われる。

【税務課長】

所得割が高いのは、資産割がないためである。資産割があるところは、所得割も低くなるので、四万十町はそれほど高くないという認識である。

【会 長】

他にありませんか。

【全委員】

ありません。

【会 長】

それではこれで令和元年度第2回四万十町国民健康保険運営協議会を終了します。ありがとうございました。(14時43分散会)

署名人

菊池未来

署名人

伊賀 紀三郎